

一九六一年六月二十七日(第十一回)

一、(本議事の散会時刻)(自午前十時三十三分至午後三時二十九分)

二、出席議員は次の通りである。

議席代	名	議席代	名	議席代	名
一 番 仲 村 春 云 力	番 米 須 清 裕	一 大 番 岩 伸 太 欽	當 山 伸 太 欽	一	
四 佐 喜 順 祐	一 〇 仲 本 云 重	二 七 佐 次 富 藍 信	當 山 伸 太 欽	二	
五 中 山 防 曜	一 二 中 里 幸 助	二 八 稲 田 順 三	當 山 伸 太 欽	三	
六 今 金 良 舞	一 三 松 本 利 宣	二 九 宮 里 敏 行	當 山 伸 太 欽	四	
七 崎 向 健 一	一 四 山 本 朝 德	三〇 伊 丹 伸 一	當 山 伸 太 欽	五	
八 知 花 云 六	一 五 天 久 盛 雄	三一 伊 丹 伸 一	當 山 伸 太 欽	六	

三、次回議員は次の通りである。

四、市町村自治法第六十一条の規定により今議事は予め説明する。

出席者は次の通りである。

村長 仲村春雲 助役 大屋興徳 政役 仲村春松  
経済課長 潤澤助一 戰政課長 尚田山全喜  
建設課長 及川江吉道 水道課長 鹿児井勝俊

五、本議事の書類は次の通りである。

六、議事は次の通りである。  
六、議事は次の通りである。  
六、議事は次の通りである。

四、議事は次の通りである。

一、六二二年度宜野湾村大へ出シードン

七 會議の顛末	
議長	出席第一 = 名でタリマツテ 議會は成立致つた
議長	(午前十時三十三分)
議長	日程第一議案年率二十一大ニ年度並行津林歲入歲出予算につきと議題と致シテ
議長	本年件に付シテは實是、既往に於て断續議會に於て引き下りて、引き清き實績を顧みず
番	屠場場改築事に關し、維持費口が西と因うて三五
番	平減に付シテ理由は、
財政課長	維持費の頂点を過ぐる場合、過渡れたり人件費であります。手を向くに付て修理費が出來り乍ら、改築すればそぐつた事にはなつて、
番	光熱費につき、三十弾う増に口つて而已
番	理由につき、又監視人松査官の報償の内訳につて説明頃シテ、
財政課長	直祖木クチ当ガニナモクナム月令を拂テ、木立直が年一ヶ十年を要す。
番	檢査官は公務員を兼ね奉るが、始終相應に付
財政課長	透明視りする。
番	此は報償的付カウドタリ
番	報償例のうちを除く之は理由付セヨハスガ、
財政課長	衛生面の指導、助言ロジモレテ、當然の事
3	ベニヒ田つら

38

経済課題	計画
一七 番	区長の視察不神助でターラー
	村長の施政方針の下で産業振興とオヨヒメに果樹栽培を計るあまりがニーベルトの便に付ソル
	スマアリカマイニイの対策費が田の井村上を有りますアフリカマイニイは今年多くロツコノ様でターラー
④百トードで可燃ガビンガ	果樹につけては将来性あるもつてあるが 村にリウム方法でやるが問題で 果樹は相手に年を出さずアラリ生産にかかるものは バナナ位ウカウドターラー
	アフリカマイニイは今年は田の井村上に付ソル
	セ制園にてスモウ庭に配布してと田の井村上に付ソル
	アフリカマイニイの件につきは 沿官出には過半数のアフリカマイニイに付ソル
	生出がヨーロッサクアーチーの百十ヶ所を購入其販売をアフリカマイニイに付ソル
	アフリカマイニイの件につきは 廉價で販賣にあくわてどもそく現田口で多くうれすが 販賣にあくわてどもそく現田口で多くうれすが 販賣にあくわてどもそく現田口で多くうれすが
10 番	持つて防除したがリヤと田の井村上
11 番	サイレントの神助につけて磨碎機を用意して
12 番	カリコチが想定を伏せて神助の対象をロツコノと申ゆるが
	110ドロク 100位を購入出来たが 大型で不便であるが小型を購入せざと困りて 今度は甲清を出で

一九番	農林省の補助に依りて想定を改訂してやるところである。条例では五月と期間があつて困つたが、天正年間へあるとひとことでアリヨナが、時期的にどうが、経済課長の條例はよく想定でアリヨナが、
一九番	農業神助金の執行面にフシナリヨナが、経済課長が利用者多く不足してアリヨナ。一大・〇年を浪用してアカーナナリヨナ。
一九番	普及団体が既にアリヨナの助成にはニーン算が必キヤセヒロリヨナ。予算外の也アロニテ中ロハ被田は、生改を喫合ロハ目アタリヨナケドオナヒアリヨナ。
一九番	農改を喫合の貴目と一二〇・果樹 苗圃のロソウアリヨナ。頂を新設してでもアリヨナにアリヨナ初セセラ必キサガアリヨナ。
一九番	アリヨナ今後新設する事あるサトヤリヨナ。
経済課長	農改喫合場合 村役場に協力すと云ふもアリヨナ。村の想
六番	副すと云ふ出未ヨリ。
六番	家畜の実にフソア 滅清的に神助アリヨナ。中アソフ
絏済課長	補助金想程アリヨナ利3分を神助すと一年アリヨナ。
六番	補助にアリヨナ千円アリヨナ多くロフミア。
絏済課長	六十頭位多くロフミアと恩ツカアリヨナ。
一五番	当局の農業技術者アリヨナ方法で相手アリヨナ。組公設金アリヨナ。平に取てねまサケルアリヨナ。出未ヨリとモアリヨナ。事務面が主ヨリス。大出張地道す。
二四番	モアリヨナ。

三義

18

朝休憩第一時。午時十一時。五十分。

西麻野一郎(4月16日十二時五分)  
金子也林榮司貢にソノレ 材肉の汁一皿が非常好的り  
三ヶ月でモテルも女房の道貢が卒業になつてゐるが、效果  
が口から出でるどうが。

。と共進會獎勵費六・五萬の予算列直がりにて了したが、どうやら方法で口を出さうとしたが、

たる都市につきは、どうか少方法でやるが、  
経済運営も、生林の政府ケトンネル神助でやるが、  
改訂され、立派歩行者が付設出来り」と云ふ。

美術院へ申請が出て、ヨーロッパへ留学する。ヨーロッパの美術院で学ぶ。

に足を運んでやつて貰ひ、十日頃まで一ヶややコイ。  
今人用では三一算を計上へても不可能でタリコナニ

七番七款は全部補助金の頃でターニング、林三一年、補助金

出前対象販賣にフツー、ペレインショ、タマネギに階段ノキニヨ。

〔アーチ〕 説明稿リヨキ  
 ドル農家にすまじいとテガバト計策にてシカ  
 在地で作物に病害が發生して、ソラ神助は直々近  
 イタウマホクス、又職員が巡回してヤツコスうどんが  
 三田田八郎、浦助(政行)十一代(四〇%)、田口(五〇%)六日  
 (カカリ)三十二(三)トネル(四二〇)(四五〇)アキラム(アガリ)  
 家個人と相尊り不可能でアリマサウジ、辰不  
 園でヤツコスが減らすマニス理由は、分量が少いが  
 適合であると  
 田口は、田中協が講入して、然本の(あがる  
 牛)肉牛とては不適であると思リヨキ  
 タイド。ナカニホガラウド、アキラムモラハラヒはタリ  
 ナホリと田舎つてアリナ  
 病害の牛につれてメンが生が爆発的口発生するが  
 ニキは防除は(アキラム)ナカニホアリ  
 病害の中に対する木村モターミは、当然各個人がやるべき  
 事あるをシカマカリミナウグ、どうしてかほっておけロシテ  
 村が備蓄白菜を持て行き防除モターミ利、又  
 我どもは其同行除をやつてもらう」とナカニホアリ  
 ハレハセロリと効果木ガヤリケンセイウ  
 田舎つてアキラムは、田中協がやつてカリマサウグ  
 田舎はナカニホアリヨセん  
 ドル。丹波農業につくよ、丹波農業にて人

一 番	六口の平農家にて、市町村と農協が二つに分り出でるが、農協とタイアップにつき説明頗ります。 總務課長
二 番	不口の平を上げて、そこ基礎が口で水が出来はりと思ふ。作物の変更、又出荷の対策、農協の云ふこと。
三 番	あがな牛は肉牛と云ふことは不適当であると、現在冲縄には牛は肉牛が多すぎであると思ふが、村が利益を補助するも、農協からなり相談がつかないと思ふ。又村々が進会の場合に肉牛が対象にされることは、必ずしも思ふ。ス村々が進会の場合に肉牛が対象にされることはありとと思ふ。
議長	議長は化け出ることはないと思ふ。平成は
議長	午前四時半（午後三時四十分）
休憩	休憩（午後三時四十五分）
議長	午前四時半（午後三時三分）
八番議員	都合により早退する。
一 番	共進会の持て方について、全村の農民祭を云ふことをあると場所が「四郎」であると、集会場、費用の上に
議長	つけて検討工事をしてあるがどうか、
二 番	甲子川村の場合、農民祭と同一牛場を借りてやるが、
議長	現在は西子の具体的なことは考へておらず、中途じそく面の検討として出来れば、色々更正できやうと実施しておるが、草木木口未だ出来ておません。

一三番 じニール栽培と早期栽培にフシトは技術をもつると  
 思ソラリナクド、並及の負担が増すが必ずサビがニラニレ算  
 で可能かどうか。  
 経済課長 テノ草汁上とあります。一期作、古代と主としてあります  
 一期作、場合十三日ヤソクノ時ツメトヨツコロ老苗に  
 ナツスニヨツテ、結果的にあわせくロワウで、早期裁  
 培ロ不可能でタリマサ  
 じニールを使用すれば、一期作でも問題なく、そな経費も  
 ソラガラロリツド、一能ビヒソフカリヨリ  
 一番 三十三万、神助金にフシト、高工会で事業化をリスヒ  
 クヒテタリヨリガ、ニシテ材一円ヒミツウ高工会で  
 あるシカ、どんか、  
 経済課長 名林は善哉天向高工会とヨツコリヨリサガ、高工会と  
 ニコハ材一円ヒミツウ呼びがけニキリスド。  
 一大番 じニール栽培ロ肉連にて、ニシテ神助ロ五月十日未トリ  
 ツアホガ、ニク冬ソリハ使用スセヨヒ古ふニ意味ニカルシテ  
 申請年月日セ交換レ、十二月頃ニロ出未ヨリガどう  
 経済課長 ニヤロ村長が認メ、時ヨドヒロツスヨリタリ  
 一八番 火舎、対策本音ニフシテ、沖縄、現状ヤヒトどう云うニシケ  
 経済課長 来るか、ウガラロソガ、ミク頗で可能かどうか  
 題であります。マサロタマネギウ種子ヲ確保ひタリ  
 地にコソロ色加一更アモ出奉ヌと思ツマカリヨリ  
 生改ウ神助ロツソムシ明年度ヨリト何グルが他増え  
 一七番

三番	視察員ドツト 午後一時に於明視リヨク
一一番	午後貢にラシカ 村、見通しのつよい目的が產 業面にプラスヒントとおふくろがゆうじと因ひ、 村とて農業生産は一大有名にさりとて、その栽培は開拓ありませ んが後で開拓を以てと田舎にてあります。 。視察不貴につきは實際の場合、ブルフ員だけで施術 ナリヨ、自発的にやうとすよりを消すと古めニモロど ミガと四ツフ
二一番	午後にフソロ、夏口野菜を作ることは難 どニテキ場で設置す中で、さう間に力を入ると四ツフ 一一番 土地購入後は校敷地の所有権は村にありと因シ どう管理面、責任ははどこにあるか、境界線の問題につく 助役 そゝ間の管理はは校敷地うすでよく村がやりた 二一番 今ア原主が新中学校敷地を購入するところは はつまり一回してからやうてあるが、 助役 これは是非やりたいと思つてカリニテ 一一番 幸天向牛校の運動場の敷地面で境界グロツカリ 八番 こちとナガレじあらが、宿泊して、どうもうござ 助役 そくニモにフソロ委嘱令づけ開拓ホリ 財務課長 校門付でブルドーザで敷地を約三十日 三番 境界づけあることをして、角測量とありま 七番 ミガチ敷料ロビスケ負担すまうが、



